

<不審メールの内容 メール本文（例）>

差出人：信用金庫 <XXXX@xxx.com>

「信用金庫」表示されますが、アドレスは不審なものとなります。

日時：2025年 xx 月 xx 日 xx:xx:xx JST

宛先：YYYY YYYY@YYYY.YY ※YYYYは受信者のアドレス

件名：お取引目的等の確認のお願い（重要）

XXXX は信用金庫名が記載されています。

平素より、XXXX 信用金庫をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当行では、お客様に安全で安心な取引環境を提供するため、関係省庁と連携し、特殊詐欺防止やマネー・ロンダリング対策を強化しています。

このたび、犯罪収益移転防止法及び金融庁のガイドラインに基づき、定期的にお取引目的等の確認を実施しております。お客様の情報をご確認いただくため、以下のURLからご対応をお願い申し上げます。

【確認のお願い】

2025年2月26日までに、下記リンクよりご自身の情報をご確認いただきますようお願い申し上げます。

▼お取引目的等の確認

<https://xxxxxxxxx.com>

XXX は不審なサイトのドメイン名等です。

ご確認後は、通常通りお取引いただけますが、期日内に確認が完了しない場合、アカウントに制限がかかる場合がございますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

お手数をおかけいたしますが、安全で安心な取引環境を維持するため、ご協力をお願い申し上げます。

今後とも、XXXX信用金庫をよろしくお願い申し上げます。

XXXX は信用金庫名が記載されています。

しずおか焼津信用金庫では、インターネットメールを利用して、お客様情報の確認等を行うことは、一切ありません。